



## 平成20年度第2次新まちづくり計画施策進行調書

政策目標	3	高齢者・障がい者へのぬくもりあふれる街					
重点課題	2	障がい者の自立支援の促進					
達成目標の状況							
施策番号	項目	18年度末 (現状)	19年度末 (実績)	20年度末 (予定)	21年度末 (予定)	22年度末 (予定)	22年度末 (目標)
1	(福祉除雪)利用世帯の満足度	90.2%	94.3%	90%以上	90%以上	90%以上	90%以上
1	(福祉除雪)地域協力員の満足度	90.8%	92.5%	90%以上	90%以上	90%以上	90%以上
1	(高齢者、障がい者の生活あんしん支援)総合的な相談窓口の設置	検討	検討	設置			設置 (20年度)
1	社会福祉協議会の法人後見事業の実施	検討	検討	実施	実施	実施	実施 (20年度)
1	グループホーム等の箇所数(累計)	164カ所	184カ所	210カ所	236カ所	262カ所	268カ所
1	障がい者相談支援事業実施箇所数	10カ所	12カ所	14カ所	15カ所	16カ所	16カ所
1	住宅入居等支援事業実施箇所数	-	4カ所	5カ所	6カ所	7カ所	7カ所
1	(精神障がい者退院促進支援)事業参加病院数(累計)	-	-	20病院	25病院	34病院	36病院
1	障がい児等療育支援事業実施箇所数(累計)	5カ所	6カ所	7カ所	7カ所	8カ所	8カ所
1	高齢者向け優良賃貸住宅の認定戸数	147戸	147戸	197戸	247戸	297戸	347戸
1	借上市営住宅の認定戸数	894戸	986戸	1,088戸	1,188戸	1,288戸	1,298戸
2	(障がい者雇用マッチング)本事業により企業などに派遣される障がい者数	-	-	2人/日	3~4人/日	5人/日	5人/日
2	協働事業実施事業所数	3カ所	6カ所	7カ所	10カ所	10カ所	10カ所
2	元気ショップ2号店の開設	-	-	調査	基本計画等作成	開設	開設
2	障がい者地域活動支援センター(就労者支援型)設置箇所数	-	-	1カ所	1カ所	1カ所	1カ所
2	市各部局での障がい者施設などに対する発注量	-	庁内PR	年度末までに状況把握	年度末までに目標設定	全発注量の1.8%	全発注量の1.8%
2	(知的障がい者等を対象としたホームヘルパー養成)講座を受講した障がい者数(累計)	-	11人	21人	31人	41人	25人
3	利用者5,000人/日以上 JR駅バリアフリー化(累計)	9駅	9駅	10駅	11駅	12駅	12駅
3	ノンステップバスの導入台数(累計)	51台	57台	63台	69台	75台	75台
3	大通バスセンター耐震化	-	協議	地上部完了 地下部診断	地下部完了		完了 (21年度)
3	大通バスセンターバリアフリー化	-	-	-	整備	整備	完了
3	エレベーター未設置の地区センター数	10カ所	10カ所	9カ所	8カ所	7カ所	7カ所
3	優しさと思いやりのバリアフリーのルール策定	検討	検討	検討	検討	策定	策定
3	地下鉄駅へのエレベーター等設置(累計)	43駅	45駅	47駅	47駅	47駅	47駅
3	(ユニバーサルデザインの公園づくり)身障者対応便所の整備率(バリアフリー新法における22年度までの達成目標値)	20%	23%	25%	27%	30%	30%
3	バリアフリー公園数(累計)	2カ所	2カ所	3カ所	3カ所	4カ所	4カ所
3	(福祉と多世代のふれあい公園づくり)乳幼児キッズコーナー数(累計)	-	-	-	5カ所	10カ所	10カ所
3	(芸術の森園路等)バリアフリー化工事	-	-	未実施	未定	未定	実施 (20年度)
3	体育施設のバリアフリー化	3施設	3施設	3施設	4施設	6施設	6施設
3	(誰もが歩きやすい歩行空間ネットワーク)重点整備地区バリアフリー化率	71%	82%	88%	95%	100%	100%
3	あんしん歩行エリア等の形成数	9エリア	9エリア	10エリア	11エリア	12エリア	12エリア

## 平成20年度第2次新まちづくり計画施策進行調書

政策目標	3	高齢者・障がい者へのぬくもりあふれる街					
重点課題	2	障がい者の自立支援の促進					
達成目標の状況							
施策 番号	項目	18年度末 (現状)	19年度末 (実績)	20年度末 (予定)	21年度末 (予定)	22年度末 (予定)	22年度末 (目標)
3	(厚別副都心地区)乗継動線のバリアフリー化	-	基本設計	実施設計 改修等工事	改修等工事	完了	完了
3	(地下鉄駅施設)バリアフリー化されている駅数	22駅	29駅	38駅	44駅	49駅	49駅(全駅)

平成20年度第2次新まちづくり計画施策進行調書

政策目標	3	高齢者・障がい者へのぬくもりあふれる街				
重点課題	2	障がい者の自立支援の促進				
主 な 取 組 内 容						
19年度(実績)		20年度(予定)				
施策1	共生に根ざした健やかな地域生活の支援					
	福祉除雪 利用世帯数3,930世帯・協力団体数219団体 地域福祉権利擁護事業・福祉サービス苦情相談・高齢者虐待相談・障がい者あんしん相談の総相談件数10,854件 グループホーム等新規設置数20カ所(補助13カ所) 障がい者に対する総合的な相談支援を行う「相談支援事業所」B型・C型各1カ所増(全12カ所) 障がい者に対して住宅への入居時や入居後の支援を行う「住宅入居等支援事業」開始(10月～、4カ所) 障がい児(者)に対する発達援助や医療的ケアに関する専門的な視点からの療育指導等を行う「障がい児等療育支援事業」1カ所増(全6カ所) 既設市営住宅のエレベーター設置モデル事業の実施(北30条団地2号棟)	福祉除雪 利用世帯数4,200世帯 高齢者、障がい者などの権利擁護に係る総合的な相談窓口として「仮」日常生活あんしんサポートセンター」の開設(10月～) 社会福祉協議会の法人後見事業の開始(10月～) グループホーム等新規設置数26カ所(補助12カ所) 障がい者に対する総合的な相談支援を行う「相談支援事業所」B型・C型各1カ所増(全14カ所) 障がい者に対して住宅への入居時や入居後の支援を行う「住宅入居等支援事業」1カ所増(全5カ所) 受入条件が整えば退院可能な精神障がい者の地域生活への移行を支援する「精神障がい者退院促進支援事業」開始 障がい児(者)に対する発達援助や医療的ケアに関する専門的な視点からの療育指導等を行う「障がい児等療育支援事業」1カ所増(全7カ所) 既設市営住宅のエレベーター設置モデル事業の実施(北30号団地1号棟)				
施策2	協働による障がいのある人への就労支援					
	障がい者の継続した雇用の場となる「障がい者協働事業」実施事業所数 6カ所(18年度比3カ所増。雇用数36人) 知的障がい者等を対象としたホームヘルパー3級養成講座実施(受講者19人(障がい者11人・支援者8人))	障がい者雇用マッチング試行事業～「元気はっけん(派遣)」事業開始(10月～) 障がい者の継続した雇用の場となる「障がい者協働事業」実施事業所数 7カ所(19年度比1カ所増。雇用数49人) 元気ショップ2号店開設等調査 就労している障がい者などに対する就労面と生活面の一体となった相談支援等を行う「障がい者地域活動支援センター(就労者支援型)」設置(10月～、1カ所) 知的障がい者等を対象としたホームヘルパー3級養成講座実施(受講者20人(障がい者10人・支援者10人))				
施策3	障がいのある人にもやさしいまちのバリアフリー化					
	JRあいの里教育大駅障がい者対応型トイレ新設工事補助 ノンステップバス導入補助(北海道中央バス・JR北海道バス) 人の目で確認をしていく「やさしさと思いやりのバリアフリー」のルール策定に係る部会1回開催 地下鉄駅エレベーター等設置(南郷7丁目駅・バスセンター前駅・中の島駅(麻生方面)) ユニバーサルデザインの公園整備(33公園) 特定経路の歩道バリアフリー化(9路線・延長2.7km) 地下鉄駅施設のバリアフリー化(北18条駅ほか6駅)	「札幌市交通バリアフリー基本構想」見直し策定 JR新札幌駅バリアフリー化補助 ノンステップバス導入補助 大通バスセンター耐震化(耐震診断・耐震改修) 藤野地区センターに車いす対応エレベーター設置 人の目で確認をしていく「やさしさと思いやりのバリアフリー」のルール策定に係る部会5回開催 地下鉄駅エレベーター等設置(北12条駅・北18条駅) ユニバーサルデザインの公園整備(41公園) 福祉施設と連携したバリアフリー公園整備(白石東公園) 特定経路の歩道バリアフリー化(6路線・延長1.7km) 〔厚別副都心地区〕2階公共通路改修・エレベーター改修(バスターミナル南レーン) 地下鉄駅施設のバリアフリー化(東札幌駅ほか8駅)				
主 な 施 設 、 サ ー ビ ス の 整 備 水 準						
施設(サービス)名	18年度末(現状)	19年度末(実績)	20年度末(予定)	21年度末(予定)	22年度末(予定)	22年度末(目標)
障がい者グループホーム等	164カ所	184カ所	210カ所	236カ所	262カ所	268カ所
障がい者相談支援事業	相談支援:10カ所 住宅支援:0カ所	相談支援:12カ所 住宅支援:4カ所	相談支援:14カ所 住宅支援:5カ所	相談支援:15カ所 住宅支援:6カ所	相談支援:16カ所 住宅支援:7カ所	相談支援:16カ所 住宅支援:7カ所
障がい児等療育支援事業	5カ所	6カ所	7カ所	7カ所	8カ所	8カ所
障がい者協働事業	3カ所	6カ所	7カ所	10カ所	10カ所	10カ所
地下鉄駅エレベーター等設置	43駅	45駅	47駅	47駅	47駅	47駅
地下鉄駅施設のバリアフリー化	22駅	29駅	38駅	44駅	49駅	49駅

## 平成20年度第2次新まちづくり計画施策進行調書

政策目標	3	高齢者・障がい者へのぬくもりあふれる街
重点課題	2	障がい者の自立支援の促進
評価（成果）		課題
<b>施策1 共生に根ざした健やかな地域生活の支援</b>		
障がいのある人の地域生活への移行を促進するために、グループホーム等の拡充や住宅入居等支援事業の実施など居住環境の整備を進めているとともに、身近な地域における健やかで安心した生活を支えるために、相談支援・療育支援体制の充実を図ってきており、障がいのある人の地域生活を支えるための社会資源は着実に整備されてきている。 また、平成20年度においては、これらの事業のさらなる充実のほか、障がいのある人などの権利擁護に係る総合的な窓口となる「仮）日常生活あんしんサポートセンター」の開設や精神障がいのある人の地域生活への移行を支援する「精神障がい者退院促進支援事業」といった新たな取組なども行い、障がいのある人が健やかで安心して生活できる地域づくりをより一層進めていくこととしている。	障がいのある人の地域生活を支えるグループホーム等や相談支援・療育支援といった個々の社会資源は整備されてきているが、障がいのある人の地域生活への移行をより一層促進していくためには、本計画に計上した事業を始めとする様々な社会資源のさらなる充実が必要となる。 また、障がいのある人の個々のニーズに沿った適切なサービスを総合的に提供するためにも、サービスのコーディネートや有機的な連携が重要となることから、障がいのある人の生活を地域全体で支えていくネットワーク体制の整備を図っていく必要がある。	
<b>施策2 協働による障がいのある人への就労支援</b>		
障害者自立支援法の「就労移行支援」や「就労継続支援」といった法定事業のほか、障がい者協働事業の拡充による雇用の場の開拓や、ホームヘルパー3級養成講座の実施による能力開発、売上げが好調な「元気ショップ」などを活用した授産製品の販路拡大などにも努めており、就労支援体制の整備を着実に進めている。 平成20年度においては、「派遣」という形態を活用して就労可能な職域を開拓し企業の理解を深める「元気はっけん（派遣）」事業や就労者などに対し生活と一体となった総合的な支援を行う「地域活動支援センター（就労者支援型）」の設置などの新たな取組を進めることにより、就労支援施策のより一層の充実を図っていくこととしている。	「一般就労」に関しては、企業の理解を深めること、障がいのある人の能力の向上を図ること、雇用の安定を図ることなど様々な課題があることから、本計画に計上している事業について、どの程度の効果があるかを十分に検証し、適宜見直していくことが必要となる。また、雇用政策をつかさどる北海道労働局や北海道と連携して、効果的に事業を進めていく必要もあると考える。 次に、地域活動支援センターなどで働く「福祉的就労」に関しては、「一般就労」への移行のほか、授産工賃アップが課題となっていることから、授産製品の販路拡大や障がい者施設などへの役務の発注などを進めていくための全庁的な取組が必要となっている。	
<b>施策3 障がいのある人にもやさしいまちのバリアフリー化</b>		
地下鉄駅のエレベーター設置やバリアフリー化、ノンステップバスの導入補助、ユニバーサルデザインに配慮した公園づくり、歩道のバリアフリー化など、安全・安心に移動できる環境の整備が計画通り進められており、障がいのある人を始め誰もが安心して、安全で快適に暮らせるまちづくりが進展してきている。 また、平成20年度においては、引き続き公共的施設の整備を計画的に進めていくとともに、数値化されたバリアフリー基準のみに頼るのではなく、人の目で確認していく新たなバリアフリー化のルール策定に向けた議論を本格化していくこととしている。	障がいのある人を始め誰もが安心して、安全で快適に暮らせるまちづくりをより一層進めていくために、公共的施設の整備に係る財源の効果的な投入のほか、人の目で確認していく新たなバリアフリー化のルールの実効性確保や公共交通事業者などとの一層の連携・協働が重要となると考える。	
<b>今後の重点取組</b>		
障がいのある人の自立を促進していくためには、生活面の安定とともに、就労支援が重要である。このため、安心して地域生活を送るために、相談支援・療育支援体制の一層の充実とともに、障がいのある人を地域全体で支えていくネットワーク体制の整備を図っていく。また、就労に関しては、新たな事業である「元気はっけん（派遣）」事業や「地域活動支援センター（就労者支援型）」の効果を検証し、適宜適当な見直しを行っていくとともに、既存の事業や他機関で実施している事業との連携も考慮しながら、効果的に就労支援施策を実施していく。		

平成20年度第2次新まちづくり計画施策進行調書

政策目標	3	高齢者・障がい者へのぬくもりあふれる街
重点課題	2	障がい者の自立支援の促進

成果指標等の動向

項目1	まちのバリアフリー化が進んでいると感じる障がいのある人の割合(単位:%)	項目2	まちのバリアフリー化が進んでいると感じる人の割合(単位:%)																						
<table border="1"> <caption>項目1: まちのバリアフリー化が進んでいると感じる障がいのある人の割合</caption> <tr><th>年度</th><th>割合 (%)</th></tr> <tr><td>H18 (現状値)</td><td>29.3</td></tr> <tr><td>H19 (実績)</td><td>44.7</td></tr> <tr><td>H22 (目標値)</td><td>50</td></tr> </table>		年度	割合 (%)	H18 (現状値)	29.3	H19 (実績)	44.7	H22 (目標値)	50	<table border="1"> <caption>項目2: まちのバリアフリー化が進んでいると感じる人の割合</caption> <tr><th>年度</th><th>割合 (%)</th></tr> <tr><td>H19 (実績)</td><td>39.9</td></tr> <tr><td>H22 (目標値)</td><td>60</td></tr> </table>		年度	割合 (%)	H19 (実績)	39.9	H22 (目標値)	60								
年度	割合 (%)																								
H18 (現状値)	29.3																								
H19 (実績)	44.7																								
H22 (目標値)	50																								
年度	割合 (%)																								
H19 (実績)	39.9																								
H22 (目標値)	60																								
<table border="1"> <caption>項目3: 入所施設の入所者の地域生活への移行者数(H19~22累計)</caption> <tr><th>年度</th><th>人数</th></tr> <tr><td>H22 (目標値)</td><td>320</td></tr> </table> <p>実績は、北海道による障がい福祉計画の進捗状況に係る調査結果が公表されていないため未記載</p>		年度	人数	H22 (目標値)	320	<table border="1"> <caption>項目4: 入院中の精神障がい者の地域生活への移行者数(H19~22累計)</caption> <tr><th>年度</th><th>人数</th></tr> <tr><td>H22 (目標値)</td><td>264</td></tr> </table> <p>実績は、北海道による「北海道在院患者調査」が公表されていないため未記載</p>		年度	人数	H22 (目標値)	264														
年度	人数																								
H22 (目標値)	320																								
年度	人数																								
H22 (目標値)	264																								
<table border="1"> <caption>項目5: 福祉施設から一般就労への移行者数</caption> <tr><th>年度</th><th>人数</th></tr> <tr><td>H17 (現状値)</td><td>22</td></tr> <tr><td>H19 (実績)</td><td>85</td></tr> <tr><td>H22 (目標値)</td><td>87</td></tr> </table>		年度	人数	H17 (現状値)	22	H19 (実績)	85	H22 (目標値)	87	<table border="1"> <caption>項目6</caption> <tr><th>年度</th><th>数値</th></tr> <tr><td>H18 (現状値)</td><td></td></tr> <tr><td>H19 (実績)</td><td></td></tr> <tr><td>H20</td><td></td></tr> <tr><td>H21</td><td></td></tr> <tr><td>H22</td><td></td></tr> <tr><td>H22 (目標値)</td><td></td></tr> </table>		年度	数値	H18 (現状値)		H19 (実績)		H20		H21		H22		H22 (目標値)	
年度	人数																								
H17 (現状値)	22																								
H19 (実績)	85																								
H22 (目標値)	87																								
年度	数値																								
H18 (現状値)																									
H19 (実績)																									
H20																									
H21																									
H22																									
H22 (目標値)																									

成果指標等から見た重点課題の評価

まちのバリアフリー化に関しては、バリアフリー化に関心が強い障がいのある人の評価が高めに出ており、安心して、安全で快適に暮らせるまちづくりが一定程度進んできていると考えられる。また、就労支援に関しては、福祉施設から一般就労への移行者数が目標値に非常に近い数値となっていることから、一定の成果が挙げられているといえ、今後も引き続き就労支援を推進していく必要がある。